



## 大分大学認定研究チームとしての成果：

分野の異なる研究者が、「私的な交流」や「共通する研究テーマ」もなく、交流し続けた。当研究チームの活動自体は「構成員各自の活動」を圧迫する負担にはなっていない。大分大学認定研究チームとして以上が確認できた。

## 今後の展開：

「分野を超えた研究者同士の連携」を模索する活動を継続する。「具体的な成果を見込めない活動」に予算や時間を費やす余裕は無く、参加したい者が参加できるときに参加したら良い。社会状況の変化に備える意味でも、大学の認定の有無に関わらず、新しい可能性を模索する機会を設ける。

## 関係者の異分野融合やアウトリーチ活動：

- ・ 大分大学Jr.サイエンス事業への参加多数
- ・ 大分大学工学部2年生に開講される授業「イノベーション科学技術論」を分担
- ・ ズボラにプルンとしたプリンを蒸す4つのポイント  
<https://youtu.be/CPA10Wjfsps> (学会で口頭発表済み)
- ・ エレキベースのヘッド落ちを題材にした力学の解説  
<https://youtu.be/yn-aXwP-FMo> (学会で口頭発表済み)
- ・ 加藤義隆, マーケティングの枠組みの紹介が技術者倫理的質問の回答に与える影響, 日本機械学会2021年度年次大会予稿集(2021), S201-01.PDF.
- ・ 日本機械学会主催「工作作品発表会onウェブ」を新規企画
- ・ 西嶋研究室では、令和2年度に、大分県産学官交流グループ活動支援事業の助成金を受けて、T-PLAN(株)、トヨタ自動車九州(株)、とともに、太陽電池を搭載したガレージからワイアレス充電により、駐車するだけで電動キックボードを充電するシステムの設計を実施した。この太陽光発電ガレージには、今後、大量に回収され始めるハイブリッドカー(プリウス)の中古バッテリーをリユースして用いた。
- ・ 西嶋研究室では、令和4年度は、大分県エコエネルギーチャレンジ支援事業費補助金を受けて、T-PLAN(株)、(株)リコーとともに、小型電動車両向けの交換型バッテリーを太陽光発電を搭載したガレージから充電するバッテリー交換ステーションの開発を進めている